

平成 2 6 年 度

事 業 報 告 書 ~~(案)~~

社会福祉法人ふるさと

社会福祉法人ふるさと 平成26年度事業報告

平成26年度の法人事業について次のとおり報告いたします。

1. 総 括

平成26年6月に「医療介護総合確保推進法」が成立し、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化に向け、①医療と介護の連携強化、②認知症対策の推進、③一部予防給付の市町村総合事業への移行、④特養ホーム新規入所者を原則要介護3以上に限定、⑤低所得者の保険料軽減の拡充、⑥一定以上の所得のある方の自己負担の引き上げ、⑦補足給付の要件に資産などを追加、などの制度方針が決まった。そして、本年2月の介護報酬改定の答申では、その方針に沿うように、給付抑制のため限りある財源をいかに効率よく重点的に配分するかという議論の結果、9年ぶりのマイナス改定（▲2.27%）となってその意図がはっきりと現れた。

また、社会福祉法人を取り巻く情勢としては、昨年6月の規制改革実行計画における社会福祉法人関係の内容が閣議決定された後、厚労省に設置された「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」のとりまとめが、去る2月12日に「社会保障審議会福祉部会報告書～社会福祉法人制度改革について～」として発表された。報告書では、①公益性・非営利性の徹底、②国民に対する説明責任、③地域への貢献の3つを基本的な視点として、(1)社会福祉法人の経営組織の在り方、(2)社会福祉法人が実施する事業の在り方、という2つの論点で示され、これらの内容が「社会福祉法等の一部を改正する法律案」として新年度の国会に提出されたところである。

このように社会福祉法人や高齢者福祉を取り巻く環境が日まじに厳しくなる中、本年度は新たな執行体制のもと、来るべき2025年問題や地域ニーズに対応すべく、積極果敢に事業に取り組んだ。以下、本年度の事業運営状況を総括する。

まず、各事業所の運営状況について。法人の母体施設である特別養護老人ホーム（以下特養）は、利用者の重度化や医療ニーズの向上などにより入院率が3.6%と高位に推移し、実質稼働率0.3%のマイナスとなったものの、前年度から上向きに推移していたショートステイの稼働率が74%（前年度比106.5%）と前年を上回り施設全体の底上げに貢献した。

前年度、利用者の入退所が激しかったグループホームも例年並みの稼働率を取

り戻し、第2グループホームと併せ安定した推移となっている。

懸案であったシニアライフサポートセンター（以下サポートセンター）については、稼働2年目を迎え介護関係者や地域への認知度も少しずつ上がっており、問い合わせやそれが入居に結びつくケースも確実に増加している。一方、軽度要介護者の受け入れと重度者対応の見極めを行う中間施設としての機能を持つサポートセンターの宿命でもあるが、1年間を通して入居7名、退居8名と異動が多い年となった。ただ、退居者のうち4名については当法人居宅介護支援事業所との連携による特養、ショートステイ、グループホームへの転所であり、法人のネットワーク体系による要介護者のステージに合わせたニーズ対応ができつつあるとも言える（他1名は在宅復帰、3名は長期入院）。しかしながら、稼働率が目標に及ばなかったための人件費超過と食材等の仕入れ値高騰による支出過多により予算を大きく上回るマイナス収支（単独事業所）となった。このことについては、来年度できるだけ早期に入居稼働率・登録稼働率ともに向上させることが何より重要であり、そうすることで一定の収入ベースを持った上で在宅と施設の中間施設としての機能を果たすことを目指したい。また、サポートセンター併設の「ふるさとキッズ」も常時1~4名の利用があり、子どもたちの笑い声がお年寄りにとって癒しとなっている。

次に、前年に引き続き大きな課題となったのが職員の人材不足の問題である。求人しても低調な求職者のため補充がままならず、職員の疲弊を増し、離職につながるという負の連鎖が生じている。本年度の離職者は前年よりも6名多い18名（保育所除く）となった。そのうち少なくとも5名の職員が職場の人間関係や労務環境が原因で離職したとみられる。こうした非常事態への対策として長崎県の補助を受け、「介護の質と職員幸福度向上プロジェクト」に着手した。（27年までの2ヶ年事業）外部コンサルタントや専門講師に協力を得て、人事考課制度の導入や職員の意識調査、管理職研修や福祉従事者としての基礎・技術研修を通して個人と組織の能力向上を図ることを目的としている。さしあたって本年は人事考課制度の導入と介護基礎講座、プロジェクト開始前の職員意識調査を実施した。また、介護職に多い心の健康問題の対策として専門の心理カウンセラーに無料で相談できるメンタルサポートサービスを外部専門機関と新たに契約を結びスタートした。現在の厳しい雇用情勢にあって新たな採用が非常に難しい中、離職を最小限に食い止めることが肝要であり、このプロジェクトを通して少しでも現状を改善できるよう、新年度においても引き続き最重要課題として取り組んでいきたい。

26年度を振り返ると大きな変化の前ぶれの年となったのは間違いない。3年前の特養の新築移転、一昨年のサポートセンターの開設と矢継ぎ早に事業を展開し、十分な余裕があるとは言えない中、大幅な引き下げとなった介護報酬改定は新年度の運営に重大な影響を及ぼすことは必至である。しかし、どのような状況にあっても絶対にサービスの質を低下させることなく、利用者と法人職員を守り抜くという覚悟で今後の事業運営に臨むことを改めて期したい。

2. 組織機構の改編

新たな事業所の開設に伴い中規模化した法人の各事業所の連携や法人本部の強化を目的として事業組織体制の機構改編を行った。

3. 賞与支給に関する運用規定の制定

やりがいある職場づくりを目指し、人事考課と連動した賞与支給を行うため標記規定を制定した。

4. 介護の質と職員幸福度向上プロジェクトの実施

職員の定着率向上のための長崎県補助事業を受託し、次の事業を実施した。

- ①人事考課制度の導入 ②介護基礎講座（(社福)紀水会理事長塚原先生講師）
- ③プロジェクト導入前職員意識調査 ④メンタルサポートサービスの開始

※参考（27年度実施事業）

- ①介護福祉士取得支援（実務者研修受講助成） ②介護支援専門員取得支援（受験対策講座受講助成）
- ③笑いヨガインストラクター養成講座 ④組織力向上のための管理職リーダー研修
- ⑤プロジェクト終了後職員意識調査

5. 旅費規程の改定

社会情勢にあわせ出張費の精算方法を改めるため、旅費規程を改定した。

6. 職員異動

(1) 採用・・・19名

・特養：9名

（介護職6名、看護職兼務1名、管理職1名、事務員1名）

・GH：介護職4名

・第2GH：介護職2名

- ・サポートセンター：介護職 1 名、調理員（非常勤） 1 名
- ・事業所内保育所：保育士 1 名、保育補助員（非常勤） 1 名

(2) 異 動・・・6名

- 特養 → 2 GHへ (2名) → GHへ (1名) → サポートセンターへ (1名)
- GH → 2 GHへ (1名)
- 2 GH → 特養へ (1名)

(3) 退 職・・・19名

- ・特養：介護職 3名
- ・GH：介護職 4名
- ・第2 GH：介護職 5名
- ・サポートセンター：介護職 6名（うち非常勤 4名）
- ・ふるさとキッズ：保育士 1名（非常勤）

(参考)

平成 27 年度採用（平成 27 年 5 月 21 日現在）

- ・特養：6名（介護職 5名：大卒 1名・専門学校卒 2名・高卒 2名・厨房 1名）
- ・2 GH：介護職 1名
- ・サポートセンター：介護支援専門員 1名

以上

平成26年度事業報告

特別養護老人ホームふるさと・短期入所生活介護

平成26年度の「特別養護老人ホームふるさと」について次のとおり報告致します

26年度の入所者利用者状況では、在籍者数はほぼ満床で横ばいであったが、退所者が過去10年間で最高の25人となり利用者の移動が多い一年となった。平均介護度は約4と例年と変わらないが、医療管理が必要な利用者が増加し、年間を通して入院者が途切れることなく長期入院での退所者が大幅に増加した。平均入院者数が2.1人となり実質稼働率も96%と前年度より3.7%低下した。また空所があっても、入所待機者が医療・介護施設の入院・入所のため入所が不可能なことが多く、入所者確保が今後の課題となった。看取りケアを8人実施した。

短期入所利用状況については、一日平均利用者数14.8人で昨年度より0.9人増となり、目標利用者数15人に並び稼働率も74%と上昇した。今年度は新規利用者数も多かったものの、入退所に伴う施設内移動も多く、長期利用者の減少となり利用の落ち込みに影響した。

昨年同様、感染症予防に1月から年度末まで面会制限を実施し予防ができた。

1月に長崎県と西海市保健福祉課の指導監査を受け、特に指摘事項はなく、法人と特養運営について良好であると評価された。

職員の退職、異動は少なかったが、職員の心身両面での健康管理が重点課題となった。職員研修はこれまでの新任、業務別研修、事業所連絡会議等に加え、外部講師を招致し研修を実施し、来るべき介護保険改正に備え、更なる介護の質の向上への事業の取り組みを始めた。

1. 特別養護老人ホームふるさと利用状況

(1) 延入所者数状況 (満床数 21,900人)

延入所者数は 21,729人で 稼働率は 99.2 %

(内、延入院者数は 776人で一日 2.1人、延実利用者数は 20,953人で平均入所者数 57.4人)

年月日	延入所者数 (在籍者)	延入院者数	延実利用者数 (在籍者－入院者)
平成 26 年 4 月	1,794	92	1,702
平成 26 年 5 月	1,860	97	1,763
平成 26 年 6 月	1,786	89	1,697
平成 26 年 7 月	1,855	77	1,778
平成 26 年 8 月	1,844	77	1,767
平成 26 年 9 月	1,789	65	1,724
平成 26 年 10 月	1,789	71	1,718
平成 26 年 11 月	1,788	43	1,745
平成 26 年 12 月	1,853	33	1,820
平成 27 年 1 月	1,842	29	1,813
平成 27 年 2 月	1,671	32	1,639
平成 27 年 3 月	1,858	71	1,787
合 計	21,729	776	20,953
26 年度	稼働率 99.2%	一日平均 2.1 人	平均入所者数 57.4 人
25 年度	99.8%	0.8 人	59.8 人
対前年比	99.4% ↓	262.5% ↑	96% ↓

(小数点第 2 位四捨五入)

在籍者数はほぼ満床で横ばいであったが、平均入院者数が 25 年度には 0.8 人と少なかったが、26 年度は 2.1 人と前年の 2.6 倍に著しく増加しており、延実利用者数も 25 年度 59, 8 人から、26 年度は 57.4 人と減少し稼働率が低下した。

(2) 月別入退所者数の状況

年間入所者数 26 人 退所者数 25 人の内、死亡退所が 14 人、長期入院のための退所が 11 人（施設での死亡 13 人で看取りケア実施が 10 人、医療機関での死亡 1 人。）

年月日	一日現在 入所者数	月内の異動		平均介護度
		入所	退所	
平成25年4月	60	3	2	4.1
平成25年5月	60	0	1	4.1
平成25年6月	60	4	3	4.0
平成25年7月	60	1	1	4.1
平成25年8月	60	4	6	4.1
平成25年9月	58	3	1	4.1
平成25年10月	60	0	2	4.0
平成25年11月	59	5	4	4.1
平成25年12月	59	1	0	4.1
平成26年1月	60	2	2	4.0
平成26年2月	60	2	2	4.1
平成26年3月	60	1	1	4.1
合計		26	25	平均 4.1

(3) 入所申し込みについて

26年度末での入所待機者数 41人

内、介護保険施設等に入所中 21人 医療機関入院 10人

2 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	稼働率 %
26年 4月	0	0	18	89	164	159	34	464	77.3
26年 5月	0	0	36	47	192	222	14	511	82.4
26年 6月	0	0	26	50	168	168	0	412	68.7
26年 7月	0	0	51	84	171	194	3	503	81.1
26年 8月	0	0	63	68	165	139	2	437	70.5
26年 9月	0	0	88	58	183	139	2	470	78.3
26年10月	0	3	59	57	245	133	13	510	82.3
26年11月	4	3	66	39	139	122	11	384	64.0
26年12月	0	0	62	43	103	121	2	331	53.4
27年 1月	0	0	91	51	152	136	2	432	69.7
27年 2月	0	0	111	48	168	97	9	433	77.3
27年 3月	0	3	107	33	219	135	16	513	82.7
合 計	4	9	778	667	2,069	1,765	108	5,400	74.0
26年度	延利用者数		5,400	一日平均利用者数		14.8人	稼働率		74.0%
25年度	延利用者数		5,067	一日平均利用者数		13.9人	稼働率		69.5%
対 前 年 比								106.6% ↑	

(小数点第2位四捨五入)

※26年度延利用者数状況（満床数7,300人）

延利用者数は5,400人、一日平均14.8人で昨年度より0.9人増となり、稼働率は74%であった。

3. 会議・委員会開催状況

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 主任会議等 | 17回 |
| (2) フロア・ユニット会議 | 86回 |
| (3) 入所検討委員会 | 7回 |
| (4) 事故防止・事故事例検討会 | 29回 |
| (5) 衛生委員会 | 12回 |

(6) 苦情解決委員会	1回	
(7) 感染対策委員会	14回	
(8) 身体拘束廃止委員会	7回	
(9) 広報委員会	5回	
		ふるさと便り153号～156号(三事業所合同) 4回発行
(10) ケアカンファレンス	28回	
モニタリング	98回	
(11) 栄養ケアカンファレンス	12回	
(12) 在宅復帰検討会	6回	
(13) 褥瘡防止委員会	10回	
(14) 給食委員会	12回	
(15) 医療委員会	9回	
(16) 研修委員会	2回	
(17) 生活向上委員会	3回	
(18) 美化衛生委員会	2回	
(19) 防災委員会	2回	
(20) レクリエーション委員会	2回	

4. 研修会参加状況

(1) 施設外研修

*西海市 県社協、県老協 施設研修等の各研修会に60回参加した。
(延125人)

(2) 職場内研修

職場内におけるスキルアップ研修・復命会(ユニットケア 接遇マナー、介護技術、褥瘡防止、身体拘束廃止、虐待防止感染症対策、事故防止、ケアの向上、クレーム対応 認知症、医療、衛生教育等)について、毎月1回の月例研修、及び随時の業務研修計17回実施した。

※ 毎月の法人事業所連絡会議とケアマネ連絡会議等で役職者へ事業所の円滑な運営のための各研修を実施。特に27年度介護保険制度改定を向けて重点的に行った。

※全法人での「介護の質と幸福度向上プロジェクト事業」の一環として、平成27年度人事考課制度導入のための全職員の自己評価と外

部講師を招いて研修を実施

10月23日 12月8日 2月17日 計3回

「人事考課管理者・主任研修」(吉木労務士)

2月18日「ケアの基本 介護セミナー」(佐賀紀水苑理事長)

*新任職員研修会を36回実施する(入職3年未満対象)

今年度は7人を雇用し、全法人で基本姿勢、共通業務、介護技術等「新任職員研修マニュアル」に添って研修し、チューター制度により個別指導育成を行う。

5. 福利厚生

全職員の年休取得率は29.8%(昨年度より7%上昇)

産休2人・育児休暇1人

雇入れ時、5月全職員、10月夜勤職員のための職員健康診断を実施。総じて生活習慣病の傾向が強く、産業医の所見を基に衛生管理者による個別指導を行い、治療が必要な職員の継続指導を実施している。

今年度は27年度の全職員「労働者のストレスチェックの義務化」にあわせて、心身面の自己管理を重要課題対策として、外部の専門家に自由に相談できる「メンタルヘルスサポート」体制の導入と外部講師による研修と、衛生管理者による細やかな個別面談を実施した。

※衛生教育

5月21日「アレルギーについて」(衛生管理者)

2月12日「メンタルヘルス・マネジメント セルフケア」
(長崎県総合支援センター・メンタルヘルス対策促進員)

3月31日「新任職員研修 健康管理」(衛生管理者)

6. 感染症予防対策

昨年に引き続き長崎西彼保健所より、最新の感染発症動向調査を情報収集し、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会開催や研修会等での周知、予防対策、労務管理に努めた。

10月4日に全利用者の結核健康診断実施。11月に全利用者、職員インフルエンザ予防接種、2月に希望利用者のみ肺炎球菌予防ワクチンを実施。嘱託医の指示により1月19日よりインフルエンザ感染予防対策とし

て面会者の制限を行い、さらに罹患した職員への予防薬を処方するなど早めの感染対応策を徹底したことで感染を予防できた。

美化衛生委員による 厨房 各フロアの清掃チェックを毎月2回
計24回実施

7. 行事

(1) 6月18日 輪投げ大会

(四事業所利用者、家族会、職員参加)

(2) 7月26日 ふるさと夏祭りを開催する621人参加

(3) 9月15日 ふるさと敬老会を開催する。

利用者ご家族への満足度アンケート実施

(4) 防災

避難・通報訓練を毎月実施する。各フロア及び合同での避難訓練
(夜間時想定訓練も含む) 13回 消火訓練3回 通報訓練9回
防災教育11回 施設全体での夜間出動訓練2回 総合訓練2回
実施した。

10月20日 法人ふるさと地域連携消防懇談会開催

佐世保東消防署西彼出張所、行政、消防団、地域

法人役員、職員56人参加

11月14日(秋季) 3月9日(春季) ……総合訓練

(5) 不在者投票

12月9日 第47回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民
審査 11人

(6) 誕生会

利用者家族会役員、地域関係者招待し、毎月第4水曜日に実施
(年間12回)

(7) 法話

町内5ヶ寺、佐世保市1ヶ寺に依頼し、毎月第2金曜日に実施
(年間11回)

(8) レクリエーション

毎月10日に季節のメニューに応じた食事会(お楽しみ献立)や、
バイキング、各フロアでのおやつ作り、リハビリを兼ねての野菜
作り、園芸、各フロアでの誕生会やドライブ等を実施

(9) 利用者家族会

6月18日・8月27日・3月26日 役員会
4月20日・9月15日(敬老会) 総会

(10) 1月29日 長崎県指導監査 西海市保健福祉課 法人指導監査

8. 実習生等受け入れ等

5月13日～6月23日・9月2日～10月8日

長崎県喀痰吸引研修 実地研修 特養介護職2人実施

11月18日～20日 インターシップ受け入れ

九州文化学園高等学校3年生2人

9. ボランティア、慰問、訪問等受け入れ

(1) 個人ボランティア 15人

(2) 企業ボランティア 三菱労働組合長船支部9人

(3) 慰問・訪問 太田和老人クラブ高砂会 佳蓉福祉支援の会
四季の会

10. 施設見学及び入所相談 延べ 96 人

11. 面会者数 年間 4,543人
一日平均 12.4人

3 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	稼働率 %
26年 4月	0	0	18	89	164	159	34	464	77.3
26年 5月	0	0	36	47	192	222	14	511	82.4
26年 6月	0	0	26	50	168	168	0	412	68.7
26年 7月	0	0	51	84	171	194	3	503	81.1
26年 8月	0	0	63	68	165	139	2	437	70.5
26年 9月	0	0	88	58	183	139	2	470	78.3
26年10月	0	3	59	57	245	133	13	510	82.3
26年11月	4	3	66	39	139	122	11	384	64.0
26年12月	0	0	62	43	103	121	2	331	53.4
27年 1月	0	0	91	51	152	136	2	432	69.7
27年 2月	0	0	111	48	168	97	9	433	77.3
27年 3月	0	3	107	33	219	135	16	513	82.7
合 計	4	9	778	667	2,069	1,765	108	5,400	74.0
26年度	延利用者数		5,400	一日平均利用者数		14.8人	稼働率		74.0%
25年度	延利用者数		5,067	一日平均利用者数		13.9人	稼働率		69.5%
対 前 年 比								106.6% ↑	

(小数点第2位四捨五入)

※26年度延利用者数状況（満床数7,300人）

延利用者数は5,400人、一日平均14.8人で昨年度より0.9人増となり、稼働率は74%であった。

3. 会議・委員会開催状況

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 主任会議等 | 17回 |
| (2) フロア・ユニット会議 | 86回 |
| (3) 入所検討委員会 | 7回 |
| (4) 事故防止・事故事例検討会 | 29回 |
| (5) 衛生委員会 | 12回 |

(6) 苦情解決委員会	1回	
(7) 感染対策委員会	14回	
(8) 身体拘束廃止委員会	7回	
(9) 広報委員会	5回	
		ふるさと便り153号～156号(三事業所合同) 4回発行
(10) ケアカンファレンス	28回	
モニタリング	98回	
(11) 栄養ケアカンファレンス	12回	
(12) 在宅復帰検討会	6回	
(13) 褥瘡防止委員会	10回	
(14) 給食委員会	12回	
(15) 医療委員会	9回	
(16) 研修委員会	2回	
(17) 生活向上委員会	3回	
(18) 美化衛生委員会	2回	
(19) 防災委員会	2回	
(20) レクリエーション委員会	2回	

4. 研修会参加状況

(1) 施設外研修

*西海市 県社協、県老協 施設研修等の各研修会に60回参加した。
(延125人)

(2) 職場内研修

職場内におけるスキルアップ研修・復命会(ユニットケア 接遇マナー、介護技術、褥瘡防止、身体拘束廃止、虐待防止感染症対策、事故防止、ケアの向上、クレーム対応 認知症、医療、衛生教育等)について、毎月1回の月例研修、及び随時の業務研修計17回実施した。

※ 毎月の法人事業所連絡会議とケアマネ連絡会議等で役職者へ事業所の円滑な運営のための各研修を実施。特に27年度介護保険制度改定を向けて重点的に行った。

※全法人での「介護の質と幸福度向上プロジェクト事業」の一環として、平成27年度人事考課制度導入のための全職員の自己評価と外

部講師を招いて研修を実施

10月23日 12月8日 2月17日 計3回

「人事考課管理者・主任研修」(吉木労務士)

2月18日「ケアの基本 介護セミナー」(佐賀紀水苑理事長)

*新任職員研修会を36回実施する(入職3年未満対象)

今年度は7人を雇用し、全法人で基本姿勢、共通業務、介護技術等「新任職員研修マニュアル」に添って研修し、チューター制度により個別指導育成を行う。

5. 福利厚生

全職員の年休取得率は 29.8% (昨年度より7%上昇)

産休2人・育児休暇1人

雇入れ時、5月全職員、10月夜勤職員のための職員健康診断を実施。

総じて生活習慣病の傾向が強く、産業医の所見を基に衛生管理者による個別指導を行い、治療が必要な職員の継続指導を実施している。

今年度は27年度的全職員「労働者のストレスチェックの義務化」にあわせて、心身面の自己管理を重要課題対策として、外部の専門家に自由に相談できる「メンタルヘルスサポート」体制の導入と外部講師による研修と、衛生管理者による細やかな個別面談を実施した。

※衛生教育

5月21日「アレルギーについて」(衛生管理者)

2月12日「メンタルヘルス・マネジメント セルフケア」

(長崎県総合支援センター・メンタルヘルス対策促進員)

3月31日「新任職員研修 健康管理」(衛生管理者)

6. 感染症予防対策

昨年に引き続き長崎西彼保健所より、最新の感染発症動向調査を情報収集し、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会開催や研修会等での周知、予防対策、労務管理に努めた。

10月4日に全利用者の結核健康診断実施。11月に全利用者、職員インフルエンザ予防接種、2月に希望利用者のみ肺炎球菌予防ワクチンを実施。嘱託医の指示により1月19日よりインフルエンザ感染予防対策とし

て面会者の制限を行い、さらに罹患した職員への予防薬を処方するなど早めの感染対応策を徹底したことで感染を予防できた。

美化衛生委員による 厨房 各フロアの清掃チェックを毎月2回
計24回実施

7. 行事

(1) 6月18日 輪投げ大会

(四事業所利用者、家族会、職員参加)

(2) 7月26日 ふるさと夏祭りを開催する621人参加

(3) 9月15日 ふるさと敬老会を開催する。

利用者ご家族への満足度アンケート実施

(4) 防災

避難・通報訓練を毎月実施する。各フロア及び合同での避難訓練
(夜間時想定訓練も含む) 13回 消火訓練3回 通報訓練9回
防災教育11回 施設全体での夜間出動訓練2回 総合訓練2回
実施した。

10月20日 法人ふるさと地域連携消防懇談会開催

佐世保東消防署西彼出張所、行政、消防団、地域
法人役員、職員56人参加

11月14日(秋季) 3月9日(春季) ……総合訓練

(5) 不在者投票

12月9日 第47回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民
審査 11人

(6) 誕生会

利用者家族会役員、地域関係者招待し、毎月第4水曜日に実施
(年間12回)

(7) 法話

町内5ヶ寺、佐世保市1ヶ寺に依頼し、毎月第2金曜日に実施
(年間11回)

(8) レクレーション

毎月10日に季節のメニューに応じた食事会(お楽しみ献立)や、
バイキング、各フロアでのおやつ作り、リハビリを兼ねての野菜
作り、園芸、各フロアでの誕生会やドライブ等を実施

(9) 利用者家族会

6月18日・8月27日・3月26日 役員会
4月20日・9月15日(敬老会) 総会

(10) 1月29日 長崎県指導監査 西海市保健福祉課 法人指導監査

8. 実習生等受け入れ等

5月13日～6月23日・9月2日～10月8日

長崎県喀痰吸引研修 実地研修 特養介護職2人実施

11月18日～20日 インターシップ受け入れ

九州文化学園高等学校3年生2人

9. ボランティア、慰問、訪問等受け入れ

(4) 個人ボランティア 15人

(5) 企業ボランティア 三菱労働組合長船支部9人

(6) 慰問・訪問 太田和老人クラブ高砂会 佳蓉福祉支援の会
四季の会

10. 施設見学及び入所相談 延べ 96 人

11. 面会者数 年間 4,543人
 一日平均 12.4人

平成 26 年度 居宅介護支援センターふるさと 事業報告

平成 26 年度「居宅介護支援センターふるさと」の事業内容を報告いたします。

平成 26 年度は特養利用者の入れ替わりが多く、居宅でのショートステイ利用後に特養ふるさとへの入所が多くみられた。また家族の希望で状態に合わせた施設への入所もあり、多施設へ 3 名入所。在宅でサービス利用中に病状悪化で亡くなった方が 3 名あり。居宅介護支援の利用者は昨年に比べ 20 名ほど少なくなっているが、介護予防サービス利用者については、26 年度初めから包括から居宅事業所委託制限 8 名が撤廃されて徐々に増え 12 月以降は 9 名の支援を行っている。

また、今年度より法人各施設での情報共有と施設ケアマネの質の向上を目的として、月 1 回のケアマネ連絡会議を開催して介護保険情報・相談内容等の検討・法人内の利用者の生活状態に合わせた施設利用等を検討し、本人・家族が当法人の施設で安心して生活が行えるように、法人一体となって支援する体制づくりを行っている。

※ 相談件数 33 名

介護保険相談・施設利用相談等が主で当法人の事業所内容説明して、ショート利用・GH やケア付き住宅等への入所や小規模多機能の利用にほとんどが結びついた。在宅でのサービスについては、在宅での介護負担が多くなったときの事を考えての相談で、アドバイスをを行いその他の居宅事業所を利用することが多くみられた。今後は居宅から地域へ出向き介護保険制度やサービス等の説明会等も実施していきたい。

また、地域活動として、西海市が平成 26 年度より取り組んでいる地域包括ケアシステムの根幹である地域ケア会議への出席や西海市施設連絡協議会の介護教室への講師として参加した。

※ 長崎市からの訪問調査依頼

昨年は 4 名であったが、今年度は 4 月より 36 名の調査を実施したが、長崎市の認定期間は 2 年間である為、変動が大きい。

※ 26 年度居宅新規契約者 20 名

26 年度居宅利用解除者 24 名

特養ふるさと入所 18 名 特養他施設 1 名 老健入所 1 名

グループホームふるさと 1 名 入院中死亡 3 名

1 居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所

月 別	介護予防利用者	介護支援利用者	計
H26・4月	3人	26人	29人
5月	4人	29人	33人
6月	6人	26人	32人
7月	8人	25人	33人
8月	8人	29人	37人
9月	8人	26人	34人
10月	8人	25人	33人
11月	8人	26人	34人
12月	9人	22人	31人
H27・1月	9人	23人	32人
2月	9人	22人	31人
3月	9人	22人	31人
合 計	89人	301人	390人
前年度	44人	333人	377人
前年度比	202.3%	90.4%	103.4%

※ 月平均 介護 301人÷12ヶ月=25.1人
 予防 89人÷12ヶ月=7.4人
 計 390人÷12ヶ月=32.5人

2 介護認定訪問調査（長崎市役所委託分）

月 別	人 数	月 別	人 数
H26. 4月	1人	10月	6人
5月	1人	11月	3人
6月	1人	12月	3人
7月	7人	H27. 1月	4人
8月	1人	2月	0人
9月	6人	3月	3人
合 計		合 計	36人

※ 36人÷12ヶ月=3人（月平均）

※ 長崎市より介護保険認定に係る訪問調査を、在宅・西海市内病院・施設等を訪問し実施する。

平成26年度事業報告「グループホームふるさと」

平成26年度の「グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 平成26年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かしたレクリエーションや生活リハビリ、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

長期入院者が相継ぎ実稼働率が91.9%となった前年度と比べ、今年度は長期入院者や医療度の高くなったご利用者の退所と、新規入所者の受け入れをスムーズな連携で進める事ができ、実稼働率の回復に繋がった。

また、運営委員会活動にも引き続き取り組み、『介護の質』『安全管理』『暮らしの質』3つの委員会活動を進め、介護の質向上を目指した。毎月、各棟または両棟合同でのユニット会議で実施状況の振り返りを行い、それぞれの課題と目的意識の共有を図った。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を、小規模多機能ホームと合同で開催し、利用者様ご家族、行政、地域、福祉関係者の参加を得て、介護保険制度や活動状況、地域との交流活動など幅広い意見交換ができた。

また、年間通して人員不足に悩まされた。県の雇用プログラムにて、2名を採用するも、体調等の理由により雇用が短期間で終わり厳しい情勢が続いた。その影響で職員に負担を強いてしまうこととなり、人材確保と職員の体調管理が課題として残った。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,570名	—	
年間延べ利用者数	6,503名	6,434名	101.1%	↑
延べ入院・外泊日数	241日	390日	61.7%	↓
年間延べ実利用者数	6,329名	6,044名	104.7%	↑
実稼働率	96.3%	91.9%	104.8%	↑
延べ未契約日数	67日	136日	49.3%	↓

3. 入退所状況

	種 別	人 数	備 考
H26年4月	退 所	1名	長期入院のため
H26年5月	入 所	1名	在宅より
H26年6月	退 所	3名	長期入院のため
	入 所	3名	在宅、施設より
H26年7月	退 所	1名	長期入院のため
H26年8月	入 所	1名	施設より
H26年10月	退 所	1名	長期入院のため
H26年11月	入 所	1名	施設より
H27年3月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	1名	病院より

○ 入所者総数：7名

○ 退所者総数：7名

4. 入所者状況（平成27年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／0名 女性／18名）		
要介護区分（平均介護度：2.7）			
要支援2（0名）	要介護1（5名）	要介護2（4名）	
要介護3（3名）	要介護4（4名）	要介護5（2名）	
年 齢	平均 86.7歳	（最低／75歳）（最高／99歳）	

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて4回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	2名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市職員	1名
	西海市社協	1名		
施 設	理事長・管理者・統括管理者・小規模多機能ホーム管理者 小規模多機能ホームケアマネ			6人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	6月24日	小規模多機能ホーム	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議について ・ 新年度運営目標について ・ 運営状況報告 ほか
第2回	9月26日	グループホーム ふるさと	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防火対策の取り組みについて ・ 運営状況報告 ほか
第3回	12月26日	小規模多機能ホーム	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上半期運営目標の振り返りについて ・ グループホーム家族アンケート結果報告 ・ 運営状況報告 ほか
第4回	3月26日	小規模多機能ホーム	名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部評価結果の報告 ・ 介護保険の改定について ・ 運営状況報告 ほか

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさと書道クラブ／地域住民へ会場開放（毎月2回） ・ 習字教室（毎月2回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 外出支援（美容院、買い物）
主な月別行事（上記月例行事を除く）

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別外出支援（美容院） ・ お花見ドライブ ・ 4月生まれお誕生会 ・ シニアライフサポートセンターとの交流茶話会 ・ お花見昼食会 ・ お好み焼きパーティー 	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪浦ウィーク散策 ・ シニアライフサポートセンターとの交流茶話会 ・ 誕生日祝い押しずし作り ・ 母の日茶話会 ・ 5月生まれお誕生会 ・ 個別外出支援（買い物）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西海市文化祭見学 ・ 西海の丘公園へドライブ ・ 輪投げ大会（シニアライフサポートセンターと合同） ・ 法人輪投げ大会（特養） ・ ピクニック（四本堂公園） ・ 梅干しづくり 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕飾りづくり ・ 7月生まれ誕生会 ・ がんばらんば国体花苗鉢植え ・ ふるさと夏祭り参加 ・ 川内遷宮特養訪問 ・ 個別外出支援（ご自宅）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ お盆のお墓参り ・ 8月生まれ誕生会 ・ 誕生日祝い餃子パーティー 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水浦老人クラブ訪問（特養） ・ ふるさと敬老演芸会参加 ・ コスモス見物ドライブ ・ 9月生まれ誕生会 ・ 西海中職場体験学習受け入れ
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金 ・ 船番所へ、昼食外出 ・ 楽し座舞踊訪問（特養） ・ 押しずし作り ・ ドライブ（大島大橋） 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブ（バイオパーク） ・ シニアライフサポートセンターもみじ祭り参加 ・ 第2GH秋祭り参加 ・ 10月・11月生まれ誕生会 ・ 脳トレ（シニアライフサポートセンター）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム冬祭り ・ 餅つき ・ 12月生まれ誕生会&クリスマス会 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国旗掲揚 ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火焚き ・ 1月生まれ誕生会 ・ 沢庵漬けづくり
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分 恵方巻きづくり・豆まき ・ バレンタインデー ・ すき焼きパーティー ・ 買物ドライブ 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひな祭り茶話会 ・ 2月・3月生まれ誕生会 ・ ドライブ（七ツ釜鍾乳洞） ・ やきそばパーティー ・ つわ採り、つわの皮むき

7. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議	1 1 回
(2) ユニット会議	1 2 回×2 ユニット
(3) 介護の質委員会	1 2 回
(4) 安全対策委員会	1 2 回
(5) 暮らしの質委員会	1 2 回
(6) 広報委員会	4 回
(7) 介護・医療勉強会・復命会	1 1 回
(8) 防災訓練	1 1 回

8. 研修参加状況

【法人内研修】

・ 新任職員研修	4 名
・ 介護リーダー研修	3 名
・ メンタルヘルス・マネジメント・セルフケア研修	1 0 名
・ 介護の基本研修	8 名
法人内研修 4 回	参加総数 延べ 2 5 名 (2 5 年度延べ参加者 4 名)

【外部研修】

・ ケアマネ総会研修	1 名
・ 初任者研修	1 名
・ 中堅職員研修	
・ 西海市福祉施設連絡協議会総会	2 名
・ 県老人福祉施設連絡協議会総会	2 名
・ 防火・防災安全講習会	1 名
・ 九州・沖縄ブロックセミナー長崎大会	1 名
・ フォローアップ管理者研修	1 名
・ フォローアップ中堅職員研修	1 名
・ 九社連老人福祉施設協議会職員研究大会	1 名
・ 日本認知症グループホーム大会	1 名
・ 認知症の方とのコミュニケーション研修	2 名
・ プロから教わる写真教室	1 名
・ 長崎がんばらんば大会 (ボランティア)	1 名
・ 笑ヨガ研修会	2 名
・ いきいき教室見学	1 名
・ 長崎県高齢者虐待防止シンポジウム	2 名

- ・ 地域における総合相談・生活支援研修会 1名
法人外研修 18回 参加総数 延べ22名 (昨年度延べ参加者32名)

9. 平成26年度外部評価の受審

法令に則り外部評価及び情報公表調査を受審した。

・ 委託団体 (株)福祉サービス評価機構

・ 訪問調査日 平成27年2月3日

・ 外部評価ならびに自己評価結果

平成27年3月20日西海市長寿介護課受理にて確定。

ワムネット(福祉医療機構)のホームページにて閲覧可

(<http://www.wam.go.jp>)

平成26年度事業報告「第2グループホームふるさと」

平成26年度の「第2グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 平成26年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かした生活支援や、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

通年で退所6件、入所6件の異動があった。入退所数は昨年度と変わりなかったが、退所からの新規入所までの期間が平均24.1日と昨年の9.8日と比べ大きく、契約日数に影響している。

『介護の質』『安全管理』『地域との交流・暮らしの質』の3つの委員会活動を引き続き取り組み、介護の質向上を目指した。委員会活動を進める中で、それぞれの課題と目的意識の共有を図った。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を26年度より事業所単独で開催している。新しく民生委員、福祉推進員へも委員として参加をいただき、利用者様ご家族や行政、地域、福祉関係者との運営目標、活動状況、防災関係、地域との交流活動など、幅広い意見交換ができた。

地域との交流においては、地域行事へ積極的に参加し、福祉推進員との交流、瀬川保育園との交流など地域との関わりに力点をおいた活動ができた。

年間を通して人材不足に悩まされた。2名の職員を新規採用していたが、健康面での問題及び、体調不良にて2名とも退職となった。また各職員へも人材不足による肉体的、精神的な負担が影響しており2名の職員が体調不良にて退職された。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,570名	—	—
年間延べ利用者数	6,425名	6,501名	98.8%	↓
延べ入院・外泊日数	173日	150日	115.3%	↑
年間延べ実利用者数	6,252名	6,351名	98.4%	↓
実稼働率	95.2%	96.7%	98.4%	↓
延べ未契約日数	145日	69日	210.1%	↑

3. 入退所状況

月日	種別	人数	備考
H26年6月	退所	1名	入院中に死亡
7月	退所	1名	入院のため
	入所	1名	老健施設より
8月	入所	1名	自宅より
9月	退所	1名	入院中に死亡
10月	入所	1名	自宅より
11月	退所	1名	入院の為
12月	入所	1名	自宅より
H27年1月	退所	1名	入院中に死亡
2月	入所	1名	法人内事業所より
3月	退所	1名	入院中に死亡
	入所	1名	自宅より（ショート利用）

○ 入所者総数：6名

○ 退所者総数：6名

4. 入所者状況（平成27年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／4名 女性／14名）		
要介護区分（平均介護度：2.4）			
要支援2（0名）	要介護1（4名）	要介護2（5名）	
要介護3（7名）	要介護4（2名）	要介護5（0名）	
年齢	平均 89.1歳（最低／75歳）（最高／99歳）		

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて4回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	1名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市職員	1名
	西海市社協職員	1名		
施設	理事長・統括管理者・管理者			3人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	6月23日	第2グループホームふるさと	名	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議について ・新年度目標について ・運営状況報告
第2回	9月25日	第2グループホームふるさと	名	<ul style="list-style-type: none"> ・防火対策の取り組み ・運営状況報告
第3回	12月25日	第2グループホームふるさと	名	<ul style="list-style-type: none"> ・運営目標上半期目標振り返り ・グループホーム家族アンケート報告 ・運営状況報告
第4回	3月26日	サポートセンター	名	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の改定について ・外部評価の報告 ・運営状況報告 ・サポートセンター家族アンケート報告 ※グループホーム・サポートセンターと合同開催

6. 主な活動状況

年間を通じた活動・行事
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 誕生会

主な月別行事			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西海橋公園ドライブ ・ お花見ドライブ ・ 買い物支援 ・ ぼた餅作り 	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪浦ウィークへ外出 ・ ちまき作り ・ グループホーム・サポートセンター合同端午の節句茶話会 ・ 母の日茶話会 ・ ガーデンランチ ・ 針尾無線塔ドライブ ・ ふるさとキッズ交流 ・ 外出支援（美容室）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット対抗輪投げ大会 ・ れまんじゅう作り ・ 輪投げ大会（特養にて） ・ 父の日茶話会 ・ 6月生まれ誕生会 ・ 西海市文化祭見学 ・ ふるさとキッズ交流 ・ パフェ会食 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬川保育園との交流（七夕） ・ 川内ハマボウ祭り見学 ・ がんばらんば国体花苗鉢植え ・ ふるさと夏祭り ・ 野菜の収穫 ・ 川内遷宮見学（特養） ・ ソーメン会食 ・ ドライブ（大島・丹納）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹納地区納涼夏祭り ・ 菩提寺へのお参り ・ お墓参り ・ スイカ割り ・ まんじゅう作り ・ かき氷作り ・ 手巻き寿司会食 ・ ふるさとキッズ交流 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太田和運動会見学 ・ ふるさと敬老演芸会（特養にて） ・ お月見会 ・ 野菜の収穫 ・ 秋の味覚会食 ・ 第2GHミニ敬老会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太田和浮立見学 ・ 瀬川保育園運動会見学 ・ 赤い羽根共同募金 ・ ドライブ（大島） ・ 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋祭り ・ サポートセンターもみじ祭り参加 ・ 消火訓練 ・ 瀬川保育園相撲大会見学 ・ 副使推進員との交流 ・ ドライブ（大島） ・ 鍋会食
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム冬祭り参加 ・ 民生委員施設見学受け入れ ・ もちつき ・ クリスマス忘年会誕生会 ・ 道の駅感謝祭見学 ・ 干し柿作り ・ 鍋会食 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火焚き ・ 漬け物作り ・ 初詣 ・ たこ焼き作り ・ 鍋会食
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分豆まき ・ バレンタインケーキ作り ・ 焼きソバ会食 ・ イワシ摘み 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひなまつり茶話会 ・ イワシつみ ・ ホワイトデー茶話会 ・ お好み焼き作り ・ 手作りおやつ作り

7. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議	1 1 回
(2) ユニット会議	1 2 回×2 ユニット
(3) 介護の質委員会	1 2 回
(4) 安全対策委員会	1 2 回
(5) 暮らしの・地域との交流委員会	1 2 回
(6) 管理者会議	1 1 回
(7) 広報委員会	4 回
(8) 介護・医療勉強会・復命会(法人合同含む)	1 1 回
(9) 防災訓練	1 1 回

8. 研修参加状況

法人内研修

・新任職員研修	4 名
・看護業務研修	1 名
・介護リーダー研修	4 名
・メンタルヘルス・マネジメント研修	7 名
・介護基礎セミナー	1 0 名

法人内研修 5 回 参加総数 延べ36 名 (25 年度延べ参加者 3 名)

法人外研修

・初任者研修	1 名
・西海市福祉施設連絡協議会総会	2 名
・県老人福祉施設協議会職員研修会	1 名
・九州・沖縄ブロックセミナー長崎大会	1 名
・防火・防災安全研修会	1 名
・フォローアップ管理者研修	1 名
・フォローアップ中堅職員研修	1 名
・九社連老人福祉施設協議会職員研究大会	1 名
・認知症の方とのコミュニケーション研修	2 名
・プロから教わる写真教室	2 名
・長崎がんばらんば大会ボランティア	2 名
・笑いヨガ研修	2 名
・いきいき教室	1 名

・長崎県高齢者虐待シンポジウム	2名
・地域における総合相談・生活支援研修会	1名
・日本認知症グループホーム大会	1名
・県キャラバンメイト養成研修	1名
・県老人福祉施設協議会 21世紀委員会セミナー	1名
<u>法人外研修会 18回 参加総数 延べ24名 (25年度延べ参加者23名)</u>	

9. 平成26年度外部評価の受審

法令に則り外部評価及び情報公表調査を受審した。

- ・委託団体 一般財団法人 福祉サービス評価機構
- ・訪問調査日 平成27年2月2日
- ・外部評価ならびに自己評価結果

平成27年3月20日西海市長寿介護課受理にて確定
ワムネット（福祉医療機構）のホームページにて閲覧可
(<http://www.wam.go.jp>)

【ケア付きシニアマンション】

	今年度	前年度	備考
新規契約者	7人(28人)	21人	
契約終了者	8人	5人	在宅復帰1人、特養入所2人、特養ショート利用1人、グループホーム入所1人、入院3人

3. 利用者状況（平成27年3月31日現在）

【小規模多機能型居宅介護】

利用者数	15名（男性／1名 女性／14）		
要介護区分	（平均介護度：1.5）		
要支援1（1名）	要介護1（9名）	要介護2（3名）	
要介護3（2名）	要介護4（0名）	要介護5（0名）	
年齢	平均86.2歳（最低／75歳）（最高／101歳）		

【ケア付きシニアマンション】

入居者数	15名（男性／1名 女性／14）		
要介護区分	（平均介護度：1.5）		
要支援1（0名）	要介護1（10名）	要介護2（3名）	
要介護3（2名）	要介護4（0名）	要介護5（0名）	
年齢	平均87.2歳（最低／77歳）（最高／101歳）		

4. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて4回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	1名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市職員	1名
	西海市社協	1名		
事業所	・理事長 ・管理者 ・管理者 ・介護支援専門員 ・居宅介護支援センター管理者 ・グループホーム管理者 ・第二グループホーム管理者			11名

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	6月24日	ふるさとニアライサ ポートセンター	14名	・新年度目標について ・運営状況報告 ほか
第2回	9月26日	グループホーム ふるさと	11名	・防火対策について ・運営状況報告 ほか
第3回	12月26日	ふるさとニアライサ ポートセンター	12名	・上半期運営目標について ・運営状況報告 ・グループホーム家族アンケート結果報告 ほか
第4回	3月26日	ふるさとニアライサ ポートセンター	16名	・外部評価の報告 ・運営状況報告 ・介護保険の改定について 小規模多機能ホームふるさとの家族アンケートについて ほか

5. 主な活動状況

年間を通した活動・行事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 買い物支援（個人支援） ・ 脳トレーニング（毎月1回） ・ 誕生会（誕生者当日に実施） ・ 特養誕生会参加（利用者に誕生者がいた場合に参加） ・ 利用者懇談会（毎月1回） 	
主な月別行事（上記月例行事を除く）	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ お花見 ・ 実相寺花祭り参加 ・ お好み焼きパーティー ・ どら焼き作り
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちまき作り ・ 菖蒲湯 ・ パウンドケーキ作り ・ グループホームとの交流会 ・ 母の日の茶話会 ・ 大相撲勝者予想ゲーム ・ ガーデンランチ

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作り上がり祭り (押し寿司作り) ・ おやつ作り (フルーツ餃子作り) ・ 輪投げ大会 ・ 父の日の昼食会 ・ 外食支援 (回転ずし レストラン) ・ ぬいぐるみ作り (テディベア作り) 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ しそちぎり ・ 七夕祭り ・ ゼリー作り ・ 夏場所大相撲勝者予想ゲーム ・ 川内遷宮見学 ・ ふるさと夏祭り参加 ・ ランチバイキング ・ ビンゴ大会 ・ 太田和老人クラブ訪問・交流会 ・ 皆でうまかもん食べよう会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ かき氷パーティー ・ まんじゅう作り ・ ぼたもち作り ・ お盆 (お墓参り) ・ 納涼会 ・ 公文学習療法説明会 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中浦ワイワイサロン訪問・交流会 ・ ふるさと敬老会参加 ・ 観月会 ・ 花の苗植え ・ ぜんざい会 ・ お彼岸 (お墓参り) ・ おはぎ作り ・ 焼肉会 ・ 利用者家族舞踊訪問
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根募金 ・ クッキー作り ・ ピクニック (ケア付きマンション前庭にて) ・ 野菜の苗植え ・ カラオケ訪問 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芋ほり ・ 焼うどんパーティー ・ もみじ祭り ・ 第2GH 森の中の秋祭り参加 ・ つるし柿作り
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH 冬祭り参加 ・ たい焼きドライブ ・ 餅つき ・ そば打ち ・ クリスマスビンゴ大会 ・ ゆず風呂 ・ おでんパーティー 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火焼き ・ 七草粥
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分豆まき ・ ワッショイ握り寿司祭り ・ バレンタインチョコレート作り ・ 餃子作り ・ ボーリング大会 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひな祭りイベント ・ 押し寿司作り ・ ホワイトデークッキー作り ・ ぼたもち作り ・ さくら祭り ・ たこ焼きパーティー

6. 会議・研修会開催状況

①職員全体会議	12回
②介護の質委員会	4回
③安全対策委員会	4回
④暮らしの質委員会	4回

⑤広報委員会	4回
⑥介護・医療勉強会・復命会	12回
⑦防災訓練	12回
⑧事業所連絡会議	12回
⑨ケアマネ会議	9回

7. 研修参加状況

【法人内研修】

・認知症ケア研修	14名
・新任職員研修会	2名
・食中毒予防対策研修会	11名
・介護リーダー研修会	1名
・「現場で使える熱中症テクニック・高齢者に多い病気について」	14名
・緊急対応マニュアル研修	1名
・メンタルヘルス・マネジメント・セルフケア研修	6名
・介護基礎セミナー研修	6名

※法人内研修会参加総数 8回 延べ55名参加

【法人外研修】

・「広報（写真の写し方、レイアウト、言葉づかい）研修」	1名
・老人福祉施設協議会職員研修	1名
・防火・防災講習会	1名
・八木原小規模多機能型居宅介護見学	1名
・九社連老人福祉施設協議会	2名
・新人職員フォローアップ支援管理者研修会	2名
・「社会福祉法人 紀水会」見学	1名
・がんばらんば国体ボランティア参加	1名
・いきいき体操研修会	1名
・身体拘束廃止推進員研修会	1名
・「2015年 介護保険改正」研修会	1名
・「信頼されるホームページの運営の秘訣」	1名
・日本福祉施設士会九州、沖縄ブロックセミナー	2名
・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1名
・「認知症とのコミュニケーション」研修	2名
・「笑いヨガ」研修会	2名
・キャラバン・メイト養成研修	1名
・高齢者虐待防止シンポジウム	1名
・防火管理者講習会	2名

※法人外研修会参加総数 19回 延べ25名参加

8. 平成26年度外部評価の受審

法令に則り外部評価及び情報公表調査を受審した。

- ・委託団体 (株)福祉サービス評価機構
- ・訪問調査日 平成27年2月4日
- ・外部評価ならびに自己評価結果

平成27年3月20日西海市長寿介護課受理にて確定。

ワムネット（福祉医療機構）のホームページにて閲覧可

(<http://www.wam.go.jp>)

以上

「ふるさとシニアライフサポートセンター」平成 26 年度事業報告

平成 26 年度の「ふるさとシニアライフサポートセンター」の事業について次の通り報告いたします。

1. 平成 26 年度活動概況

2 年目となった本年度は「さくら祭り」、「ガーデンランチ」、「納涼会」などの新しい行事を実施した。行事を通して交流することで、利用者同士の関係への配慮や、相談できる関係づくりも少しずつ構築することができた。

利用状況（小規模の登録、マンションの入退居）に変動は見られたが、その度ごとに法人内・医療機関との連携も円滑に行うことができた。また、入居して状態の改善がみられたとの声が多く、実際に介護度も軽減されている。

小規模多機能型居宅介護事業所に義務付けられている「運営推進会議」を、グループホームと合同で開催し、利用者様ご家族、行政、地域、福祉関係者の参加を得て、介護保険制度や活動状況、地域との交流活動など幅広い意見交換ができた。

職員間の連携も初年度と比して格段に向上しており、人材不足の中でも職員に勤務体制での負担をかけることなくサービスの低下を防ぐことができた。

今回の介護保険改正で「地域包括ケアシステムの構築」が重要な課題とされており、なかでも小規模多機能型居宅介護事業所の役割が注目されている。課題でもあった、積極的な地域との交流や情報発信を考えていく必要があり、居宅介護支援事業所と協働で行っていききたい。

2. 利用状況

【小規模多機能型居宅介護】

項目	今年度
1 日あたりの通所利用者人数（平均）	6.3 人/日
1 ヶ月あたりの訪問利用日数（平均）	27.9 日/月
1 ヶ月あたりの宿泊利用者数（平均）	0.4 人/月

・契約状況（延べ人数）

	今年度	前年度	備考
新規契約者	9 人 (31 人)	22 人	内ケア付きマンション契約者 22 人
契約終了者	9 人	7 人	

平成26年度事業報告「ふるさとキッズ」

平成26年度の「ふるさとキッズ」について、次のとおり報告いたします。

1. 事業概況

2年目となった本年度の園児は期間最大で6名（5家族）の登録があった。妊娠による退職者に代わり、新たに有資格者1名（常勤）、保育補助員1名（非常勤）を雇用し、3人態勢で遊びや園生活、交流を通して健やかな成長ができるよう支援した。特に併設のサポートセンターのお年寄りとの交流は前年以上に積極的に取り組み、お互いにとって有益なものとなった。

一年を通して事故や緊急対応等もなく、安全な保育を実施することができた。また、連絡帳等で家庭との連携を密にとり、保護者の気持ちに寄り添い園児の個性を大切にした保育を行うことで保護者との信頼関係も構築できている。

今後の課題として、介護職の不規則な勤務シフトにどこまで対応することができるかを検討していきたい。

2. 利用状況

○ 登録園児数＝ 4月～ 4名（男3女1） 6月～ 6名（男4女2）
10月～ 4名（男3女1） 3月～ 2名（男1女1）

・ 0～2歳児

〔単位：延人数〕

月	託児数	職員	月	託児数	職員
4	44	47	10	59	59
5	42	41	11	57	55
6	74	55	12	48	50
7	86	61	1	58	60
8	69	53	2	62	58
9	79	61	3	28	41
			計	706	641

3. 主な活動状況

年月	活動内容	年月	活動内容
H26. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターお誕生日会参加 ・サポートセンターお花見会参加 ・サポートセンターお好み焼きパーティー参加 ・グループホーム訪問 ・サポートセンター訪問 ・こいのぼり製作 ・お散歩 ・砂遊び 	H26.10	<ul style="list-style-type: none"> ・特養訪問 ・第2グループホーム交流会 ・サポートセンターピクニック参加 ・10月製作(栗) ・サポートセンターフォトコンテスト in ふるさと見学 ・ハロウィン仮装 ・まねっこ遊び ・お散歩 ・シャボン玉遊び ・お絵描き ・絵本の読み聞かせ ・音遊び ・砂遊び ・どんぐり拾い ・折り紙 ・小麦粉粘土遊び ・どんぐりで遊ぶ(マラカス作り他)
H26. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・母の日プレゼント製作 ・サポートセンター訪問 ・時計製作 ・てるてるぼうず製作 ・サポートセンターお誕生日会参加 ・父の日プレゼント製作 ・お散歩 ・シャボン玉遊び ・お絵描き ・シール貼り ・砂遊び ・テレビ観賞 	H26.11	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター芋掘り参加 ・サポートセンター焼うどんパーティー参加 ・11月製作(みの虫) ・サポートセンター訪問 ・サポートセンターもみじ祭り参加(もみじ祭りにキッズからも作品展示) ・第2グループホーム秋まつり参加 ・ちぎり折り紙貼って遊ぶ ・お絵描き ・お散歩 ・泥遊び ・スタンプ遊び ・マイク作り ・どんぐりで遊ぶ ・プチプチで指運動
H26. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター竹のこ寿司パーティー参加 ・畑にラディッシュを植える ・サポートセンター訪問 ・第2グループホーム交流会 ・6月製作(傘、雨) ・お散歩 ・テレビ観賞 		
H26. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾りつけ ・7月製作(星) ・七夕おやつゼリー子供達でトッピング ・サポートセンター訪問 ・夏祭り参加 ・サポートセンターバイキング参加 ・砂遊び ・シャボン玉遊び ・お散歩 ・新聞紙遊び ・ぬり絵 ・お絵描き 		

H26. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター訪問 ・8月製作（魚） ・特養訪問 ・第2グループホーム交流会 ・サポートセンター納涼まつり参加 ・特養（舞台練習） ・お絵描き ・風船遊び ・ボール遊び ・点シール貼り遊び ・シャボン玉遊び ・新聞紙、ダンボールで遊ぶ ・テレビ観賞 ・動物パズルシート遊び 	H26.12	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター訪問 ・12月製作（クリスマスツリー） ・特養訪問（舞台練習） ・特養クリスマス会参加 ・絵本の読み聞かせ ・梱包の中に入っている袋で遊ぶ ・動物パズルシート遊び ・コマ遊び ・テレビ観賞 ・お散歩 ・砂遊び ・お絵描き ・ハサミのおけいこ ・シール遊び ・シャボン玉遊び
H26. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・特養訪問（舞台練習） ・9月製作（ぶどう、とんぼ）絵具使用 ・サポートセンター訪問 ・プレ敬老会参加 ・サポートセンターぜんざい会参加 ・敬老の日のプレゼント作り（ぶどう、コスモス、とんぼ、栗） ・敬老会参加 ・グループホーム訪問（輪投げ） ・サポートセンターバーベキュー大会参加 ・新聞紙で遊ぶ ・シャボン玉遊び ・お散歩 ・指スタンプ遊び ・お絵描き ・風船遊び 	H26. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター祝賀会参加 ・1月製作（おしし、凧） ・凧作り ・凧あげ ・かるた遊び ・コマ遊び ・サポートセンター鬼火たき参加 ・絵本の読み聞かせ ・お散歩 ・ままごと遊び ・ボール遊び ・風船遊び ・砂遊び ・小麦粉粘土遊び ・ぬり絵 ・どんぐり遊び ・のり使用自由作品作り ・新聞紙、ダンボール遊び ・鬼の面製作 ・折り紙
		H26. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分（豆入れ袋製作） ・サポートセンター、キッズ豆まき参加 ・2月製作（雪だるま） ・サポートセンター“ワッショイ”にぎり寿司まつり参加 ・サポートセンターバレンタインチョコ作り参加 ・第1回サポートセンター杯ボウリング大会参加

		<ul style="list-style-type: none"> ・お散歩 ・ハサミのおけいこ ・風船 ・ぬり絵 ・コロコロ双眼鏡製作 ・新聞紙で遊ぶ ・ひな人形製作 ・砂遊び ・指スタンプ
	H26. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター茶話会参加（ひな祭り） ・3月製作（たんぼぼ、てんとう虫）絵具使用 ・サポートセンターお誕生日会参加 ・お散歩 ・シャボン玉遊び ・ままごと遊び ・動物パズルシート遊び ・スタンプ遊び ・雪を見て楽しむ ・折り紙 ・お買い物ごっこ遊び ・小麦粉粘土遊び ・ケン玉作り ・砂遊び ・ハンマーパンチゲーム ・ひらがなマシーン遊び